

# 大阪定期能楽公演

素謡

葵上

狂言

文山立

仕舞

## 能 頼 政



2019年6月1日(土) 午後1時開演

全自由席 (開場は1時間前)

入場料(税込) 一般 5,500円 学生 3,000円

年間回数券(3枚綴り) 15,000円(税込)

「ワンコイン(500円)deマイシート

入場券にプラス500円でお好きな席を指定席にする事が出来ます。

◎座席指定ご希望の方は大槻能楽堂事務所にて、各公演の前日まで受付を致します。

◎入場券とは別に500円必要です。座席指定券のみの入場は出来ません。

\*天災等によりやむなく中止、順延の場合もあります。

\*券の申し込みは出演各能楽師、公演会場、連絡所、  
ローソンチケット(Lコード54911)へお申し込み下さい。

### 主催 梅 猶 会

お問い合わせ

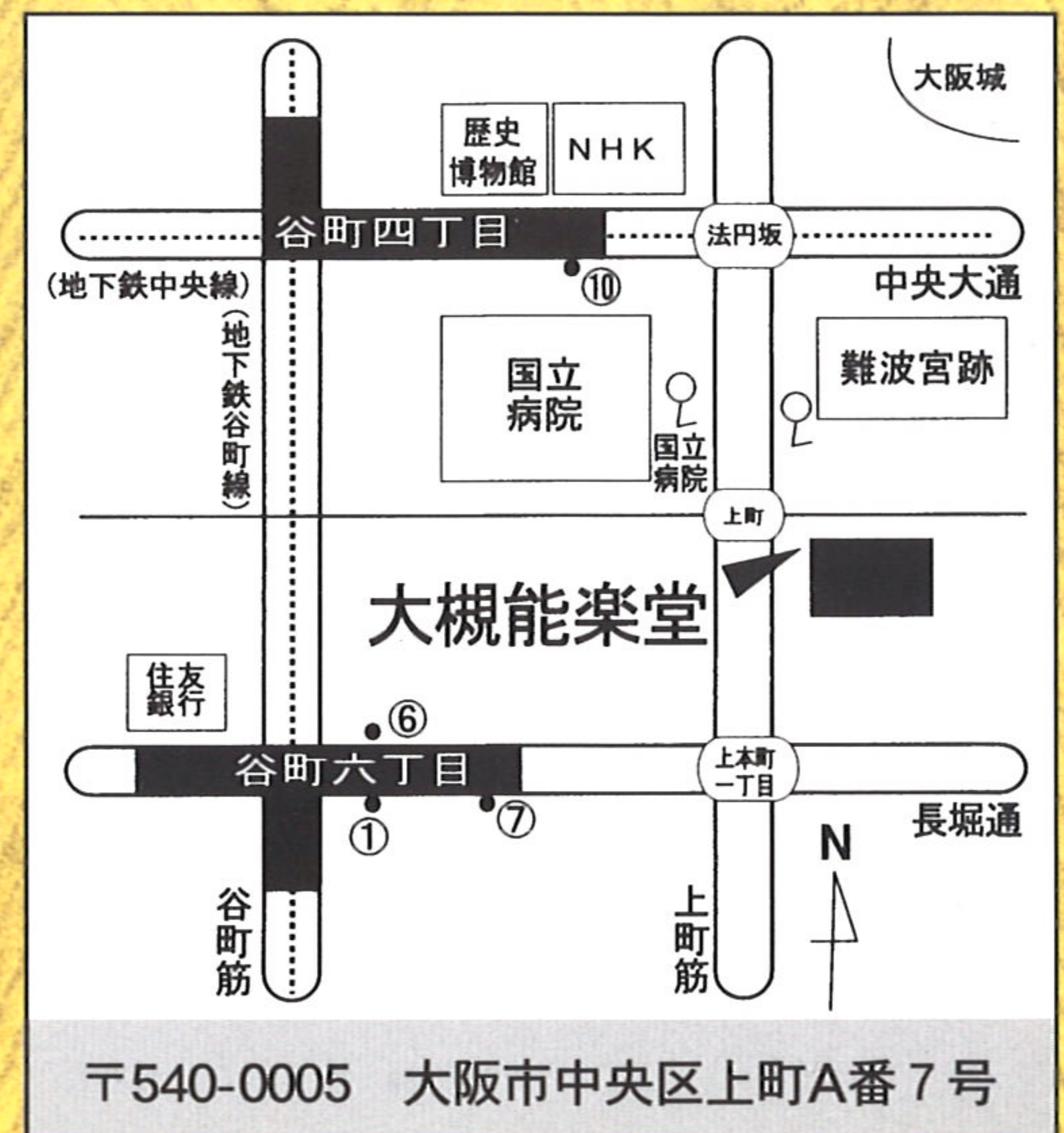


梅猶会事務所 梅若方  
〒665-0867 宝塚市売布東の町15-26  
電話・FAX 0797(87)2446

### 会場

## 大槻能楽堂

TEL.06-6761-8055



二〇一九年 六月一日(土) 午後一時始

# 第二回 大阪定期能楽公演

素謡

(35分) 葵上 巫女 立花香寿子 池内光之助 横川小聖 井戸 和男 上野雄介 地謡 岡田 晃一 梅若 善高 梅若 雅一

狂言

(20分) 文山立 山賊 善竹 隆司 山賊 善竹 忠亮 後見 上吉川 徹

十四時頃 仕舞

邯鄲 梅若 猶義  
松風 梅若 修一  
熊坂 梅若 基徳 地謡 梅若雄一郎 池内光之助 井戸和男 小松 勝憲

《休憩 15分》

十四時四十分頃 能

(85分) 頼政 前尉 後源三位頼政 梅若 堯之 旅僧 福王 知登 大鼓 大村 滋二 小鼓 成田 達志 笛 赤井 啓三

問 里人 善竹 隆平

後見 梅若 雅一 梅若 猶義 地謡 梅若雄一郎 井戸 良祐 小松 勝憲 岡田 晃一 上野 雄介 梅若 修一 立花香寿子 梅若 基徳

附祝言

十六時頃 終了予定

主催 大阪梅猶会

素謡 葵上(あおいのうえ)

光源氏の正室葵上は、物怪のために重い病の床にあります。その正体を知るため、照日巫女が梓の弓を鳴らして物怪を呼び寄せます。葵上の枕辺に現れたのは、六條御息所の生霊でした。生霊は、光源氏との華やかな日々、愛を失った今の嘆きを綿々と述べ、激しい感情の高まりのままに、葵上を打ちすえて姿を消します。急ぎ呼び出された横川の小聖の前に、再び鬼女の姿を現した御息所の怨霊ですが、法力によってついに祈り伏せられてしまいます。

狂言 文山立(ふみやまだち)

獲物になる通行人を見つけた二人ですが、通行人は去ってしまいます。相手の不手際をお互いに罵り、二人の間で喧嘩が始まります。そのうち見物する者がいなくて、は張り合いがないとか、このまま死んでは犬死になるからとかで、妻子たちに遺言を残しておこうということになります。果たして決着はつくのでしょうか。

能 頼政(よりまや)

諸国一見の旅僧が、京都から奈良に向かう途中、一人の老人に出会い、僧は名所を尋ねます。老人は旅僧の求めに応じて、あたりの名所を教え平等院へと誘います。そしてここは頼政が武運つたなく戦死したゆかりの地であると教えます。僧が合掌して回向すると、老人は喜び、ちようど今日がその命日にあたり、自分こそその頼政の幽霊であると名乗って消え失せます。(中入) そのあと、宇治の里の人がやって来たので、旅僧は、彼から頼政の挙兵の理由や宇治橋の合戦の様様を聞きます。僧は頼政のために読経し、仮寝をします。やがて、僧の夢の中に、法体の身に甲冑を帯びた老将頼政が現れます。頼政は治承四年夏、挙兵した時の様から説き起こし、宇治に陣を構えた様様を語ります。そして、宇治川を挟んでの合戦、平家方三〇〇余騎が川を渡ってくる様子、踏み留まつての防戦と語りつぎます。しかし、敗色濃しと見た頼政は、平等院の芝の上に扇を打ち敷き、「埋れ木の花咲くこともなかりしに身のなる果ては哀れなりけり」の辞世を詠じて自害します。その跡が、世にいう扇の芝であると述べ、僧に回向を乞うて、草の陰に消えてゆきます。

第3回 予告

2019年12月1日(日) 午後1時開演 湊川神社神能堂

能	楊貴妃	梅若 猶義
狂言	鬼瓦	善竹彌五郎
能	融	立花香寿子